

■第3回平群町公共交通会議における指摘事項と対応

No.	議題	指摘事項	発言者	対応
1	コミバス視察結果	豊岡市、もともと自由乗降区間の設定がなかったのか、途中からなくなったのか、経緯は把握されているか	堀田委員	■豊岡市にヒアリング 豊岡市では自由乗降区間の設定は、現ルートではなし。 過去にもなし。
2		吉野町、自由乗降区間の設定について、なぜその区間を自由乗降区間にしたのか	堀田委員	■吉野町にヒアリング コミュニティバス導入前の奈良交通の路線バスが自由乗降区間を設定しており、それを継承している。 自由乗降区間においては、どこでも降りられるわけではなく、降車指定地を設定している。
3		豊岡市、吉野町ではスクールバス利用の児童数はどれくらいか	東伸幸委員	■吉野町にヒアリング 小学校 2校:生徒数 275名、うちスクールバス利用は100名 中学校 1校:生徒数 163名、うちスクールバス利用は52名 ■豊岡市にヒアリング 幼稚園 27園:児童数 642名、うち路線バス・市営バス・鉄道利用は53名 小学校 20校:生徒数 4934名、うち路線バス・市営バス・鉄道利用は357名 中学校 10校:生徒数 2534名、うち路線バス・市営バス・鉄道利用は181名
4		警報が発令された場合、コミュニティバスの運行（ダイヤ調整等）はどのような対応とされているのか	森井委員	■吉野町にヒアリング 警報発令時の下校用バスは、予備車両にて対応する。（コミュニティバスで動いていない車両が3～5台あり） ■豊岡市にヒアリング 予備車両はなし。定時運行バスのダイヤに余裕があり、臨時便の調整が可能ならば臨時便で対応。臨時便の増発ができない場合は、定時運行バスまで待ってもらう。
5		フリー乗降区間の設定に関して、法律上の制限等あるのか	堀田委員	フリー乗降区間は、区間全体がバス停扱いとなる。また、その区間のダイヤは表示されないため、利用者にとっては利用しづらくなる。また、どこでも乗降できるというわけではなく、安全な場所での乗降となる。西山間ルートについては、ある程度集落の位置が固まっていることから、乗降場所についてはある程度限定されるため、フリー乗降区間とするよりも、バス停を設定するものとした。
6	バス路線見直し(案)	今回の計画が誰を対象としているのか(通園・通学者なのか、通勤者なのか)がよくわからない	辻本委員	通学、外出、買い物に利用できる交通手段の確保を目的としている。
7		緑ヶ丘地区について、地区から平群町役場周辺に乗り換えで行けるようなルートやコミバス導入を考えてもらいたい。	甲野委員	路線バスのルートについては、住宅地と駅を結ぶルートを基本としており、新たなルートの導入についてはバス事業者と協議を重ねる必要がある。また、当地区へのコミバス導入については、路線バスとの競合となる可能性があり、導入は難しい。 緑ヶ丘地区から平群町役場周辺への移動に関しては、元山上口駅での乗り継ぎダイヤの調整、路線バスから路線バスへの乗り継ぎ運賃の導入について今後バス事業者とも調整し、円滑な移動が可能となる方策について考えていく。
9		アンケートの自由意見については、タクシーに関する意見が多い。詳しい内容について、提供いただきたい	峪中委員	アンケートの自由意見についてとりまとめた資料を後日配布した。